輝ける母校に誇りと夢を託して

創立120周年記念事業実行委員会
委員長　木　村　博　彦

2022 年 11 月 12 日、創立 120 周年記念事業の最終行事となる記念祝賀会が開催されました。

創立 120 周年記念事業は、2017 年に実行委員会が発足し、2021 年の創立 120 周年に向けた事業計画の立案と準備が始まりました。実行委員会では、各委員からの提案と協力により、「記念式典」「記念祝賀会」「記念行事(N 響演奏会)」及び「百二十年史の発刊」の 4 つの事業を計画致しました。以降、計画の遂行は、事業全般に亘って多くの同窓の皆様及び母校の教職員の方々にご協力、ご援助を賜りました。厚く御礼申し上げます。

さて、この度の記念事業は、2019 年後半に発生したコロナパンデミックの影響をまともに受けましたことから、感染予防のために厳重な規制の中での開催となりました。このため多方面で多大なご迷惑をお掛けすることとなりました。

NHK 交響楽団の演奏会(2021 年 7 月 4 日)と記念式典(同年 11 月 20 日)は、様々な制約がある中でしたが、コロナの感染防止対策を徹底しながら当初計画した日程で開催出来ました。ところが、記念式典と同日に予定しておりました記念祝賀会は、延期せざるを得ませんでした。仕切り直しの記念祝賀会は、コロナ禍が解消されることを期待して 2022 年の同窓会総会日(8 月 20 日)に合わせ開催することと致しました。しかしながらこの日もコロナ感染の影響を考慮し、再度延期せざるを得なくなりました。その後、時間の経過とともに with コロナに向けた政策と考え方が変わりつつある中、懸念が完全に払拭された状態ではありませんでしたが、諸対策を講じた上 11 月 12 日に無事開催することが出来ました。一方で百二十年史は、120 年史部会の方々のご尽力により、予定の頁数を大幅に上回る素晴らしい記録が出来上がり、2022 年 3 月に発刊することが出来ました。

当「香陵百二十年の煌めき」には、幾多の困難を乗り越えて実施されました 4 つの事業に関して、各部会の活動報告が掲載されております。コロナパンデミックが当記念事業に及ぼした様々な影響と、それらに如何に対応し準備されたのかをご一読頂くことで、ご苦労された方々の葛藤の様子がご理解頂けます。また、百二十年史の正編には掲載出来ませんでしたこぼれ話的な「揺籃の庭」も掲載されており、編纂に携わられた方々の地道なご努力の一端を伺うことが出来ます。

試練は人を育て、組織を強く致します。今回の事業を通して、母校、同窓会、PTA、奨学会、振学対策委員会の相互の信頼が増し、今後更に力強い母校の運営がなされますことを期待しております。加えて、同窓の皆様の新たな出会いにより、これまでにない世界が広がっていくことを祈念しております。

母校創立 120 周年記念事業が終了致し、この度の事業を通して母校の歴史が輝ける未来に向かって力強く歩み続けていくことを確信し、実行委員長としての結びの挨拶と致します。